

いちず いっしん
一途一心

平成24年5月14日 NO.10
茅野高校生活指導係

ゴミを平気で捨てるということ ～自分の尻は自分で拭け！～

きょうからポイすてきんしです

ぼくはこのはるから、いちねんせいになりました。がっこうからかえるときに、みちにいろいろなごみがおちているのをみつけました。そしてごみひろいをしようとかんがえました。

にちようびに、かぞく四にんでごみひろいをじっこうしました。どこをやったかという、いえからがっこうまでです。

ビーだまがひとつありました。わゴムが三つありました。おかしのごみは、コンビニや、こうこのちかくにたくさんおちていて、ぜんぶで六十一ぷくろもありました。かみくずは百十まいもありました。

一ばんびっくりしたのはたばこのすいがらで、七百四十本もありました。そのうちさいごまでもえて、みじかくなっていたたばこは九十八本もありました。「こういうたばこは、きっと火がついたまま、すてられたにちがいない」と、おとうさんがいっていました。

ごみをすてたひとたちは、ごみばこにすてることを、ならっていないのですか?ぼくみたいなこどもが、おとなのだしたごみを、なぜひろわなければならないのですか?

きょうからポイすてきんしです!

2008年5月9日 信濃毎日新聞 佐久市 丸山覚くん (当時6歳)

「ゴミを捨てた人達は、ゴミ箱に捨てることを習っていないのですか?」

何やってんだ大人は…

自分で自分の尻も拭けないような者は、大人の仮面をかぶった幼児。
自分で出したゴミを平気で道やその辺に捨てるということは、そういうこと。

ゴミをポイ捨てする人間を見たら、
そいつが「人前で誰かに尻を拭いてもらっている絵」を想像してごらん。
恥ずかしくて、自分はそうはなりたくない絶対と思うはず。

そういう感覚を大事にしてほしい。

ゴミのポイ捨てだけじゃない。

自分のやったことに責任をもって最後までやりきれ、本当の大人に、
君たちにはなって欲しいと切に願う。

そして、君たちが次の世代に、そんな当たり前だけ大切なことを伝えてくれるとうれしい。

